

「日本アニメーション映画史」(1977年/有文社) 作品目録の改訂部分

2023.2.29

改訂情報 調査・作成: 佐崎順昭 (映画史研究)

「日本アニメーション映画史」のページ数	「日本アニメーション映画史」作品目録 (NAE) ID	年	題名	制作	作	声	委託・配給・提供	巻	m	分	公開年月日	封切館	カラーの種類	サウンド (音声)	フィルム	特記事項	解説・内容	略筋
194	NAE0059	1926-7	孫悟空物語	自由映画研究所	大藤信郎		中央映画社 配給	3巻			1926年10月29日封切	武蔵野館						昔、一匹の狼がいた。雲に乗り変化する様を使い、狼仲間から「孫悟空」と慕われていたが、いたずらすぎて歡世菩薩のために石の中に封じこまれた。ちょうどその折、唐天空へ経文を取り行く三蔵法師に助けられ、猪八戒、沙悟浄と共に万里の旅の上ることになる。途中遭遇する幾多の妖怪、魔物から三蔵法師の身を守り、めでたく天空へたどりつく。虚空にさんらたる花降り、微妙な音楽聞える中、各々仏果を得、歡世菩薩の徳を称えた。
194	改訂NAE0059	1926-7	切紙細工 西遊記 孫悟空物語 [奥商会16mm短縮版] [染色版]	自由映画研究所	大藤信郎		中央映画社 提供	3巻	1044m		1926年10月29日	武蔵野館、新宿松竹館	オレンジ染色	サイレント	16mm 両目	収蔵ID: 31132。これを元素材に35mm(ID: 16689、22371)の複製を複製。	大藤信郎の千代紙映画第2作。オリジナルは35mm、全3巻、1044m(16fpsで56分)。所蔵プリントは奥商会映画部が複製した16mm短縮版でオレンジ染色が施されている(16fpsで8分、エンドマーク欠)。この版はエピソードのつなぎに混乱が見られたため、ストーリーにそって修正した。『キネマ旬報』の広告や紹介号では製作会社として自由映画研究所の表記はなく、「製作 大藤信郎」「脚色 作画並藤手 大藤信郎」となっているが、後開時刻の製作者の項目に自由映画研究所とある。封切は徳川夢声、山野一郎らが井土を募める新宿・武蔵野館でアメリカ映画との併映で公開された。なお『日本アニメーション映画史』の略筋は、『キネマ旬報』1926年10月11日号の「各社近作日本映画紹介 孫悟空物語」の略筋を参考にしたものである。NPO法人科学映画館には9.5mmのバテベーパー版2巻(約6分30秒)が掲載されており、メインタイトルやエンドマークはないものの、中間字幕が多く、三蔵法師が孫悟空や猪八戒、沙悟浄と出会う経緯が、地名等交えて詳しく説明されている。ただこの版には孫悟空が怪物と戦い、その後が現れる場面が省略されており、すでに大衆の経典を蔵する天竺の「大雷音寺の大雄殿」(雄宝殿ではない)の場面になっている。またウェブサイト「映画の蔵」にも同じくバテベーパー版が図録と共に紹介されているが、科学映画館のものとは字幕の字体なども含め若干異なるように見える。	藩の時代の長安の都、太宗(たいそう)皇帝の命を受けて、倭装三蔵(けんじようさんぞう)が大衆の仏典を求めて、西天(さいてんじく)への旅に出る。途中、三蔵和尚は大岩に閉じ込められた孫悟空に出会う。悟空はいたずら過ぎて釈迦如来によって五行山(ごぎょうざん)に封じ込められていたのだ。三蔵和尚は悟空の願いを受け容れ、お経を唱えて助けてやる。三蔵和尚の弟子になった悟空は、娘に嫁い掛かっている豚の化け物を恐らしめる。豚の化け物は「和尚様を待っていた」と言い、三蔵法師は「仏法に降伏する心があれば」と、猪八戒の名を考え、弟子に加える。悟空は如意棒を手にとり、八戒は無手を手にとり、三蔵和尚に従って旅を続ける。八戒と争っている河童の化け物を、悟空が如意棒でやっつける。河童の化け物は孫悟空と名を奪われ、三蔵和尚の弟子に加わる。怪物(牛魔王)が悟空に戦いを挑む。悟空が怪物の刀を奪くと、怪物は地中の穴に逃げ、その上に大石が飛んでくる。悟空は刀を投げて、その大石の上へ突き刺す。芭蕉扇(?)の手を持って三蔵一行のもとに現れた悟空は、玉を出し扇を投げ上げると、空中に飛んだのは山(伏虎山)を踏み、雲を頂いた悟空が現れる。それは大衆の経典を蔵する雄宝殿である。三蔵和尚が雄宝殿の如意棒・経典を授けて頂くように頼むと、如来様は「経典は龍車に乗って送るであろう」と言われる。
196	NAE0082	1927-1	みかん船	大藤信郎プロダクション	大藤信郎		中央映画社 配給	2巻			1927年2月11日封切	武蔵野館						嵐の中を紀州から江戸へミカンを運ぶ紀伊国屋左衛門の話。かっぱれの総おどりで終る華やかな千代紙映画。
196	改訂NAE0082	1927-1	千代紙細工 みかん船 [サクラグラフィ版] みかん船 [バテベーパー版]	大藤信郎プロダクション	原案 藤手・大藤信郎		中央映画社 配給	3巻	725m		1927年3月11日封切	武蔵野館	白黒	サイレント	16mm 両目 9.5mm あり	9.5mmバテベーパー版もある	紀の国屋左衛門は、江戸で家柄が少ない年に、紀伊の地から家柄を船で運び出し、一儲けしようと思いつく。左衛門は許嫁のおそでを失って、使用人とともに帆船で出漁。雲の上では嵐の神が安房の山の神と争っている。左衛門が上り上げた家柄箱が嵐の神に当たり、怒った嵐の神は嵐を起し、船を沈めようとする。嵐の神の大風から出てきた妖怪が、空の力を開いて大雨を降らす。船を下ろし嵐雨を家柄船。嵐の神が雷鼓を叩いて雷を起こす。嵐に翻弄される船から左衛門は落ちそうになりながらも、やがて嵐は晴れて、家柄船は無事に江戸へ着く。大儲けした左衛門は、おそでと一緒に、「沖の神のいかに、白帆が見える、あれは紀の国、みかん船」とかっぱれに浮かれる。	
197	NAE0098	1928-3	花咲爺	横浜シネマ商会	原案、脚色・青地忠三 作画・村田安可 撮影・上野行清			1巻	375m	20分	1928年7月発売							おとぎ話の忠実な動物化。
197	改訂NAE0098	1928-3	漫画 花咲爺 [短縮版]	横浜シネマ商会	監修・青地忠三 漫画・村田安可 撮影・上野行清			1巻	375m	7分			白黒	サイレント	16mm 両目	収蔵ID: 32440。ほか9.5mm版(ID: 32575)がある。ライオン製35mm玩具フィルム(ID: 19363-8)は村田安可作品ではない。	横浜シネマ商会の短編文化館シリーズ「アナライブラリー」第2巻。35mm版の発売は関東方面を同本洋行が、関西方面を奥商会が行い、16mm版は小西六本館が行った。文部省推薦映画。所蔵プリントは16mm版で、オリジナルの35mm版が327m、12分(24fps)なのに対し5分ほどに短縮されている。『映画教育』1928年7月号の「新作映画の物語と解説」を読むと、奥次(白シロ)がいざならぬ黒熊を追いかけける冒険の場面や、花咲爺さんが評判となる経緯などが欠落していることがわかる。なお16mmサクラグラフィ版の発売は1931年の可能性がある。またバテベーパー版も所蔵しており、16mm版に対して時間は短いものの、16mm版に欠落しているシーン(夜、善良なお爺さん夫婦が、白と件から出た小判を家で拝んでいるところを、強盗お爺さんが罠子に穴を開け盗み見る場面)がある。	
197	NAE0100	1928-5	動物オリンピック大会	横浜シネマ商会	原案・青地忠三 作画・村田安可 撮影・飯田光治			1巻			1928年9月発売							これまでの村田作品は複製のおとぎ話に忠実すぎて、キヤムも少なかったが、この作品はオリンピックをテーマに、動物の擬人化が巧みでキヤムも見られる様になった。動物達のオリンピックが開かれ、象、カバ、狼、熊、虎、ゾウ、アヒル、アヒルの選手が出場。棒高飛びは狼が優勝。円盤投げは象の投げた円盤がUF0みたいに出る。越え雲の中に、800m決勝で大接戦を演じた猿とゾウは、レース途中でケンカ。優勝をアヒルにさらわれる。一等の象が優勝チップが渡され、皆が願うように祝福するが、象の下手になってしまふ。

197	改訂NAE0100	1928-5	動物オウムピック 大会[サクラグラフィ版][短縮版]	横浜シネマ商会	監督・青地忠三 作画・村田安司 撮影・飯田光治	横浜シネマ商会提供 同本洋行、奥商會、小西六本店発売	1巻	323m		白黒	サイレント	16mm		横浜シネマ商会の短編文化映画シリーズ「アナライブラリー Atena Library」第30巻。35mm版の発売は関東方面を同本洋行が、関西方面を奥商會が行い、16mm版は小西六本店が行った。所蔵プリントは16mmサクラグラフィ版でオリジナルの35mm版が323m、12分(24fps)なのに対し6分ほどに短縮されている。省略部分は、冒頭のライオン会長の訓話、狼の宣戦、進行係のサル、ラストの象の優勝カップ授与など。同じサクラグラフィ版でも長いバージョンは「日本アニメーション映画クラシックス」で見ることが出来る。なお神戸映画資料館には「象の投げ」[マラソン] [1500m決勝] など「各動物オリンピック」と題された競技ごとの35mm玩具フィルム(ライオンなど)もある。	動物たちの入場式。ライオン会長の訓話に続き、狼の選手宣誓。棒高跳びでは、狼が支柱を越えて宙に浮かぶパンを見事に跳躍。円盤投げは象の投げた盤が山を越えて飛んで行く。自慢ありげな狼は円盤が自分の頭当たって失敗。200mハールは黒虎が優勝。一瞬に走った狼は途中で飛んできた風船を喰い込み、自身が膨らんで空の彼方に浮かんで行く。象と狼の投げた棒高跳びは、象の投げた棒が雲まで飛んで、雲に隠れていた風船状の顔に刺さり、槍と顔は地上に落下。1500m決勝では、先頭を走っていた狼とブルドッグが喧嘩して脱落。カバはバテで動けず、後からきた軍曹がカバとラダを追い抜き、ゴールテープを切る。その様子を見た狼とブルドッグは、馬鹿らしくなって喧嘩をやめ、仲良く握手。総合優勝は円盤投げと投げた2個目まで一等の象と決定。
198	NAE00109	1928-14	日の丸は輝く		木村白山		1巻							凸山二等兵は、敵弾より片手片足を失いながらも203高地に自軍旗をたてる。自露糧争場面	
198	改訂NAE0109	1928-14	日の丸は輝く		木村白山		1巻							16mmのサクラグラフィ版として「御園の爲に」と改題されたほか、35mmの玩具映画『日の丸は輝く突撃』の題名で総攻撃の場面のみが抜粋されて販売された。漫画調の凸山君とは対照的に、乃木将軍にそっくりな人物が登場するが、サクラグラフィの映画目録では某国との戦端が開かれたと説明され、日露戦争であることが曖昧になっている。	
198	NAE0113	1928-18	日本一の桃太郎	タカマサ映画社	山本早苗		1巻	317m	17分					おとぎ話の「桃太郎」をストレートに動画化したもの。鬼ヶ島の王城の様式美が面白い。	
198	改訂NAE0113	1928-18	お伽噺 日本一 桃太郎	タカマサ映画社	作画・山本早苗 撮影・相原隆昌	16mm版発売・サクラグラフィ(小西六本店)	1巻	317m	17分(但し16mm版の美測は14分)	白黒	サイレント	16mm	完全片目	神戸映画資料館所蔵の16mm版が元素材として35mmに複製され、ウェブサイト「日本アニメーション映画クラシックス」で公開されている。また35mmの玩具フィルム版の「大毎キノグラフィ」版(青染色)もある。おとぎ話の「桃太郎」をストレートに動画化したもの。鬼ヶ島の王城の様式美が面白い。	
198	NAE0122	1929-2	太郎さんの汽車	横浜シネマ商会	原案、脚色・青地忠三 作画・村田安司 撮影・上野行清	横浜シネマ商会提供 同本洋行、奥商會、小西六本店発売	1巻							横浜シネマ商会の短編文化映画シリーズ「アナライブラリー Atena Library」第37巻。35mm版の発売は関東方面を同本洋行が、関西方面を奥商會が行い、16mm版は小西六本店が行った。	
198	改訂NAE0122	1929-2	太郎さんの汽車 [サクラグラフィ版][短縮版]	横浜シネマ商会	監督・青地忠三 漫画・村田安司 撮影・上野行清	横浜シネマ商会提供 同本洋行、奥商會、小西六本店発売	1巻	303m		1929年6月発売	白黒	サイレント	16mm	16mm、2本、収蔵ID: 31124(両目)と21680(片目、染色版)。	横浜シネマ商会の短編文化映画シリーズ「アナライブラリー Atena Library」第37巻。35mm版の発売は関東方面を同本洋行が、関西方面を奥商會が行い、16mm版は小西六本店が行った。所蔵プリントは16mmのサクラグラフィ版。オリジナル版(303m、24fpsで11分)はアニメの前後に実写部分がある。汽車が大好きな太郎さんはお父さんに買って来て買った汽車のおもちゃを枕元に置いて、夢を見る。その夢の部分が現存版のアニメーションである。なおマツダ映画社所蔵のものには前後の実写部分も含めて欠落がなく、アニメ部分も若干長い。実写部分の太郎さんの家は、あくまでも推定の域だが、横浜シネマ商会の社屋も兼ねた佐伯・佐伯永輔館で撮影され、お父さん役は村田安司が務めた可能性もある。
201	NAE0148	1929-28	団子串助		不詳										
201?	改訂NAE0148 (検討中)	1931	横智奇珍漫遊記 團子串助漫遊記		画・宮下万三 [宮下万蔵] 伴奏・ボールドールレコード 899-AB	Pathé Baby[伴野商店]	2巻			白黒	サイレント	9.5mm		条件書面は宮尾しげをの「団子串助漫遊記」。ボールドールレコード899-A面とB面に同時期したレコード「キー・ウェブサイト」[78MUSIC] 掲載のボールドール邦楽SP盤目録によれば曲名は「団子串助漫遊記(健宮の巻)」、実演家は結城人形劇場一座、演劇は結城人形劇場音楽部、作詞は宮尾しげをの、脚色は宮尾しげとあり、新編発売が1931年9月となっている。目録148「団子串助」と同一作品ではないと思われる。	
201	NAE0152	1929-32	太郎さんの冒険映画	タカマサ映画社	相原隆昌、山本早苗		1巻	310m	17分	1929年12月完成 1930年公開				船場から抜け出した漫画の太郎と次はカメラをかついで撮影旅行に出かける。船場から南洋までの間に、いろんな動物に出会う。	

201	改訂NAE0152	1929-32	太郎さんの冒険 影	タカマサ映画社	撮影・相原隆 昌 作画・山本 早苗		1巻	310m	11分	1929年12月 完成 1930 年公開	白黒	トーキー (エリ ア)	35mm	完全、元素 材 フィル ム縮みあり	現存版のタイトルは「日本マンガ太郎さんの冒険撮影」で短縮版(5分)。製作会社や作者のクレジットはない。	
202	NAE0163	1930-9	村祭(お祭り)	千代紙映画社	大藤信郎		1巻	30m	4分			レコード トーキー			ビクター・レコードの文部省唱歌「村祭」とシンクロサイズする。画面に歌詞が出て来る。	
202	改訂NAE0163	1930-9	児童唱歌映画 村祭	千代紙映画社	作画・大藤信郎		1巻	30m	3分						SP盤ビクターレコード51120のA面「童謡ジャズ 村祭」と同期したレコードトーキー。レコードでは文部省唱歌「村祭」を平井英子が歌い、アーネスト・カイ・ジャズバンドが伴奏した。画面中の歌詞の上を曲に合わせて白い玉が弾んで示す技法は、アメリカのフライシャー兄弟が発明した「パウシング・ボール」を真似たもの。ちなみにレコードB面は同じく文部省唱歌「汽車」。	
204	NAE0183	1931-5	レヴュー・春	横浜シネマ商会	作画・村田安 司	横浜シネマ 商会提供 岡本洋行、 奥商會、小 西六本店発 売	1巻	264m	14分	1931年6月 発売					横浜シネマ商会の短編文化映画シリーズ「アナライブラリー Atena Library」第54巻。35mm版の発売は関東方面を岡本洋行が、関西方面を奥商會が行い、16mm版は小西六本店が行った。いくつもの短い話をつないだオムニバス形式で、日本漫画としては、珍しい一貫した筋を持たない、ナンセンスギャグ漫画。	野にも山にも、里にも春が来た。遠くの山の雪も消え、山川のほとりには花が咲き、木のほらや土の下に冬ごもりしていた獣達は一瞬に及び出して来て、楽しげに歌い踊る。黒ネコのお婆さんは、川へ洗濯に行き、流れて来た桃を切ると、いきなり鳥が飛び出した。白熊君が、釣りをしているところ、釣針に掛った小魚を少し大きい魚が呑み、それをさらに大きい魚が呑むというように、順々に呑んだ大魚を釣り上げ、喜んでいと順々に落ちてしまった。
204	改訂NAE0183	1931-5	漫画レヴュー 春 [サクラグラフィ版]	横浜シネマ商会	漫画・村田安 司 監修・青地 忠三	横浜シネマ 商会提供 岡 本洋行、奥 商會、小西 六本店発売	1巻	263m	10分	1931年6月 発売	白黒	サイレン ト	16mm 両目	収蔵ID: 32465、不 完全な 16mm、収 蔵ID: 16972-1も ある。	横浜シネマ商会の短編文化映画シリーズ「アナライブラリー Atena Library」第54巻。35mm版の発売は関東方面を岡本洋行が、関西方面を奥商會が行い、16mm版は小西六本店が行った。所蔵プリントは16mmのサクラグラフィ版。唱歌「春が来た」の歌詞が入っているこの作品は、河野佐が開発したコーン・システムによるトーキー一作品として製作されたが録音が村田の気いらず、サイレント作品となった(村田安司「発声漫画の製作に就て」『映画評論』1934年7月号、59頁、及び、岡本昌雄「村田安司と漫画映画(註)」『映画テレビ技術』1992年9月号、47頁)。『映画教育』1931年6月号の広告には「この頃の音量で言へば正しく漫画オンパレードです 村田安司漫画一流のナンセンス 題して漫画レビュー 春」とある。ちなみに「日本アニメーション映画クラシックス」に掲載されているサクラグラフィ版の映像にはメインタイトルがないが、こちらのものにはメインタイトルが含まれている。	春が解け、野山に春が来る。冬ごもりから飛び出した動物の子どもたち。兎は縄跳びし、竹馬に乗った狸に白熊が石を投げるが、じきに狸と白熊は馬跳びに興じ、兎もそれに加わる。蛙は自動車で、猿は自転車に乗って競争。学校も始まる。豹の先生が算数の授業中、居眠りの豚に黒猫を消して競争。木の上では小鳥たちがジャズの演奏。山羊のお婆さんは山へ芝刈りに、狸のお婆さんは川へ洗濯に。流れて来た桃を見て、狸のお婆さんは桃太郎と思ひ、割ってみると虫が出てきてびっぴり。のきな黒熊のお婆さんは池で魚釣り。釣り針に小さな魚がかかること、それを少し大きい魚が呑み込み、順繰りに魚が食いついて大魚が釣れる。喜んで持ち帰る途中、次々に魚が落ちて何もなくなっても、のきな黒熊のお婆さんは気づかない。満開の桜の下で、山羊のお婆さんの太鼓に、狸のお婆さんの三味線で、豚とアヒルが陽気に踊る。最後は飛び入り歓迎の花相撲大会。鼠は栗鼠を投げ飛ばすが、猫を見て退散。ワンパンチで猫を貴かしたブルドッグは、ペリカンに尻尾を噛まれ敗退。次に現われた狼が、ペリカン、兎、山羊、豚、白熊を倒し、五人抜きの大優勝。しかし象から授与された優勝カップが重すぎて倒れてしまう。
204	NAE0184	1931-6	空の桃太郎	横浜シネマ商会	原作、脚色・ 青地忠三 作 画・村田安司 伴奏版 音楽・ 日本ビクタ ー・オーケ ストラ		1巻	292m	16分							南極に近いある平和な島に、一羽の猛ワシが突如現われ、ペンギンやアホドリに襲いかかった。大きおきの末、この島の代表者が、桃太郎にこの猛ワシ退治を依頼して来た。桃太郎は心よく引受け、お供に犬、猿、キジを連れ、勇ましく飛行機に乗って出かけた。途中、大亀の背中でガソリン給油、もう一度浮上する猿の背の特設石油スタンドから給油成功。南極へ到着した。猛ワシは突然、飛行機を襲撃して大空で戦いが展開。しかし日本の桃太郎にはかなわず、捕まった。桃太郎の飛行機は猛ワシをぶら下げて、祖国日本へ向った。
204	改訂NAE0184	1932	漫画 空の桃太郎 [伴奏版]	横浜シネマ商会	監修・青地忠 三 漫画・村田 安司 編曲並指 揮・上杉定 伴 奏版 音楽・日 本ビクター・ オーケストラ 録音・吉阪レ コーディング システム	横浜シネマ 商会提供 岡 本洋行、奥 商會、小西 六本店発売	1巻	310m	12分		白黒	トーキー (デンシ テイ) ※ 音焼き込 まれている が両目 なので再 生できない	16mm、2 両目 ID: 32474(両 目)と 21214(片 目)。そのほ か染色 35mm玩具 フィルム、2 本、収蔵 ID: 19363- 27と19363- 49(朝日活 動)があり、 タイトルは 共に「漫画 空の桃太 郎」。	横浜シネマ商会の短編文化映画シリーズ「アナライブラリー Atena Library」第56巻。35mm版の発売は関東方面を岡本洋行が、関西方面を奥商會が行い、16mm版は小西六本店が行った。最初はサイレント版として作られ、1932年に横浜シネマにトーキー・スタジオが開設されると、上杉定による日本ビクター・オーケストラが演奏をした伴奏版が作られた。所蔵プリントは16mmで「吉阪レコーディングシステム」とクレジットに出るが、16mmに縮小した際、両目のパフォーマンスにかなり、サウンドトラックは再生できない。吉阪レコーディングシステムとは、横浜シネマ商会が最初に採用したトーキーシステムで開発者の吉田康士と版倉得三の名を取って命名された(『映像文化の担い手 佐伯永輔「ヨコシネ」の歩んだ70年」ヨコシネデーターベース、1995年3月、23頁)。なお本来、伴奏版であったこのバージョンは中間字幕が省略されているのに対して、「日本アニメーション映画クラシックス」に上がっているサイレント版にはオリジナルの中間字幕が入っている。村田安司はこの作品を振り返り「ガソリンの海上補給など当時の問題をそのまま入れ込んだのです。大驚退治と出かけたのは空の王者で威張ってるアメリカあたりを当込んだ気味もあります」と述べている(『活映』1933年5月号)。		
205	NAE0197	1931-19	あめや理	十字屋小型映画部	不詳		1巻	61m	6分			マーベル ・トー キー	16mm			
205	改訂NAE0197	1931-19	漫画 あめやたぬき / 漫画 トーキー あめや理	十字屋小型映画部	宮下万蔵		1巻	61m	6分				16mm		SP盤ビクターレコード50715のA面とB面に対応するレコードトーキー。A面のタイトルは「漫画 あめやたぬき」でB面が「漫画 トーキー あめや理」。「童謡唱歌 あめや理」は作詞作曲が佐々紅華、独唱が二村定一、台詞が平井英子(お嬢さん役)、演奏が日本ビクター管弦楽団。	あめやのおじさんがお嬢さんにあめを売り、ダルマさんと福助の踊りを見せる。最後には狸踊りをする、子狸に化けたお嬢さんにあめを全部盗まれてしまう。

206	NAE0205	1931-27	茶目子の一	協力映画社	西倉喜代治														レコード トーカー		ビクター・レコード50681A・B面にシंकロする。協力映画社第三回作品。 茶目子が朝、目を覚し、歯を磨き、食事をし、学校に行き、算数と国語で先生に誉められ、夜、家の人達と映画を観に行くまでの一日の生活を、佐々紅華作詞作曲、平井素子独唱、高井ルビーの詞でオペレッタ調に描く。	
206	改訂NAE0205	1931-27	茶目子の一	協力映画製作社	作・西倉喜代治														レコード トーカー		SP盤ビクターレコード50681のA面とB面にシंकロするレコードトーカー。協力映画製作社第三回作品。「童謡唱歌 茶目子の一」は作詞作曲が佐々紅華、独唱が平井素子、台詞が高井ルビー(母親役)と二村定一(先生と井士役)、演奏が日本ビクター管弦楽団。茶目子が学校で読本を褒められたと母親前で鼻高々となる場面では、1931年に死去した女性オリンピック陸上選手の人見絹枝の実写映像が挿入されている。 茶目子が朝、目を覚し、歯を磨き、食事をし、学校に行き、算数と国語で先生に誉められ、夜、家の人達と映画を観に行くまでの一日の生活をオペレッタ調に描く。	
208	NAE0224	1933-1	雲雀の宿替	横浜シネマ商会	原案、脚色・青地忠三 作画・村田安司																横浜シネマ商会の短篇文化映画シリーズ「アテナライブラリー Atena Library」第63巻。35mm版の発売は関東方面を同本洋行が、関西方面を奥商會が行い、16mm版は小西六本店が行った。	インゾップ物語の「雲雀とその子」から題材を得たもので、愛娘のひばり一家が、妻の刈入れで引越し準備をする。畑の持ち主が近所の人を刈入れの手伝いに頼むがダメになる。今度は親類を頼むがダメ。他人を当てにせず、明日主人と息子で雨が降ってもやるという言葉聞いて、ひばり一家は引越しする。他人の力を頼るなというインゾップの教訓を描いたもの。
208	改訂NAE0224	1933-1	漫画 雲雀の宿替	横浜シネマ商会	脚色・青地忠三 漫画・村田安司														白黒 サイレント	16mm	横浜シネマ商会の短篇文化映画シリーズ「アテナライブラリー Atena Library」第63巻。35mm版の発売は関東方面を同本洋行が、関西方面を奥商會が行い、16mm版は小西六本店が行った。所蔵プリントは16mmサクラグラフ版(24fpsで13分)。「インゾップ寓話集」(中務哲郎訳、岩波文庫、1999年3月)では325頁「雲雀と農夫」(241頁)、館原栄「今日の映画教育経営」(『教材映画』1938年4月号)では、尋常小学校2年の修身の教材として「自分の事は自分でなすべきことを教えて自立自富の精神を養わせるが目的」とあり、「斎藤内閣」映画が製作された1933年当時の斎藤実首相の挙国一致内閣の目指した自力更生を当て込んで製作されたものと指摘している(26-27頁)。また加藤生「新作紹介『雲雀の宿替』」(『活映』1933年5月号)では雲雀の子どもたちを「無邪気に爆弾三勇士の真似」をして遊んでいると描写している。	初夏、たわわに実った果樹に暮らす雲雀(ひばり)一家は、お父さん、お母さん、赤ちゃん、三兄弟の六人家族。父さんと、赤ちゃんをおんぶした母さんは、作業のため家を留守にする。家を空ける時、母さんは三兄弟に、富の主人がどんなことを言うかよく聞いておくよう頼む。その日の夕方、三兄弟は、「近所のものはあてにならない、親類を呼び出して、すぐに刈入れにかかろう」という富の主人の会話を伝える。畦に住んでいた野鼠は昨夜のうちに引越したとのこと。雲雀の父さんは、その言葉を聞いて、宿替を促す母さん等に「まだ慌ててはいない」という。それから二三日後の雨の日、野鼠の空家へ蛙が入るとすると、蛇の先客がいる。蛙は雲雀に蛇に喰わせ、やっつける。その時、富の主人は「もう人手は頼まぬ、お前とおい等で、ずすは降っても照っても刈入れだぞ」と言う。その晩、雲雀一家の引越し準備が整う。雲雀の父さんは「人をあてにしている間は、何事も出来ない。『自分でやる』と決心してはじめて仕事出来る」と心得を述べる。翌日はからりと晴れた引越日和、蛙に見送られ、大八車に荷物をいっぱい載せた雲雀一家は引越しをする。
211	NAE0246	1934-2	月の宮の王女様	横浜シネマ商会	原案、脚色・青地忠三 作画・村田安司 音楽・コロムビア・オーケストラ 指揮・杉田良造	解説・関谷五十二 歌・伊藤久男、村山雪子													トーカー		切り紙とは思えないほどセル・アニメのようになめらかに動いている。	平和な美しい花畑の中にリスの町があった。町はずれに、いつの頃からか可愛い女の子が親切なリスのおばあさんに育てられて住んでいた。昔はこの子がどこから来たのか誰も知らなかったが可愛がっていた。ある日、おばあさんの留守に、近所に住む悪い蛙の大将が遊んでいる女の子を見つけ、さらって逃げる。それを見た隣家のリスは非常警報を鳴らし、全員、棒やクワを持って悪蛙を追いかける。途中、蛙とリスは激しい立ち回りを行うが、リスの大軍になかむと思えた悪蛙、池にとび込み子分の応援を頼む。リスの一隊は早速船を作って池の真ん中へ。しかし水上では蛙軍の方が強く数々な目に会う。一方、この近くへ雇がやって来て、そこにいたアヒルに「私は月の宮の使者だが、この辺で女の子を見なかったか」とたずねる。アヒルはリスのおばあさんが女の子を育てていることを思い出して話す。実は女の子は、月の宮の王女で、お守の兜がうっかり目を放したときに雲の間から落としたことが判る。事情を聞いた悪蛙は池へ飛び、リス軍に加勢して蛙軍をやっつけ、王女を救う。王女とリスのおばあさんは、皆に見送られて、雇の背に乗り月宮へ向う。宮殿では鬼退治が王女の無事帰還に大喜び。やさしいおばあさんのために歓迎会が開かれた。
211	改訂NAE0246	1934-2	月の宮の王女様	横浜シネマ商会	原案、脚色・青地忠三 作画・村田安司 編曲並指揮・杉田良三 編曲並指揮・杉田良三 唄・伊藤久男、村山雪子 録音・矢野弘 音楽・コロムビア・オーケストラ	解説・関谷五十二													白黒 トーカー	16mm	35mm版の発売は関東方面を同本洋行が、関西方面を奥商會が行い、16mm版は小西六本店が行った。所蔵プリントは、戦前の関谷五十二が解説をするオリジナル版が16mm(8分)で残っているが、メインタイトルなどのほか、後半の1/3が欠落している。内容的には、雇が蛙たちをくちばしでやっつける場面以降がなく、唐突に別タイトルの「終」マークが出て終わる。村田安司の切り紙アニメーション技法に関しては、当時主流になりつつあったセルアニメーションと比較して、大藤信郎は次のように絶賛している。「『月の宮の王女様』は全部切り紙ですね。あれ以上の動作といふものは切紙では出来ないんです。あれは我々としては驚く程です。」(『漫画映画産談会(続)』『映画教育』1936年12月号、22頁)	

211	改訂NAE0246	1951	月の宮の王女様 [新版]	小西六写真工業	作画・村田安明 音楽・三木鶏郎 とそのグループ 唄・神田千鶴子 西川十六 ミリサウンド システム					白黒	トーキー	16mm		新版と銘打たれたこの作品は、小西六写真工業が16mmカラグラフィ版として戦後に、ナレーションと音楽を入れ直して発売したものである。発売時期は特定できないが、雑誌『月刊教材教員』1951年1月号に広告が出ていることから、その前後と推定できる。所蔵プリントは音声トラックのある16mm(11分)と音声の欠落した16mmの2本がある。前者は音飛びがあるものの、オリジナルの画はほぼ残っているものと思われる。後者は音声欠落しているが、前者にはないオリジナルのエンドタイトルが見られることで貴重である。さらに戦前オリジナル版と戦後新版を細かく比較すると、冒頭、リスのおおあさんが歌って、花の中に寝ている女の子を起す場面は、新版に比べてオリジナル版の方が、唄が完全に消えている(戦前版の歌手は村山雪子、新版は神田千鶴子)。オリジナル版と新版のナレーションは、男声と女声の違いはあるものの内容はほぼ同じであるが、非常報知機を聞き空襲だと思ひ、リスが家に隠れる場面では、新版は「空襲はじゃない、戦争は終わった」との戦後ならではのナレーションに変更されている。	ある村の花畑に暮らす、親切なリスのおおあさんは、可愛い女の子を育てることにする。近所には大酒飲みで怠け者のゲロ助が住んでいる。ゲロ助はリスのおおあさんが村に行っている留守に、女の子をさらってしまう。その様子は目撃した一匹のリスが非常報知機で仲間知らせる。リスの仲間が集まり、ゲロ助から女の子を助けるため、氣勢を上げる。棒を持ったリスの一回と、ゲロ助のチャッパ。多勢に無勢で不利を悟ったゲロ助は池に逃げる。池には二羽のヒルがおり、女の子を探している一羽の雁(ガン)と出会う。アヒルはリスのおおあさんが可愛い女の子を育てていることを伝えると、雁は、月の宮でお姫様をお守りしていた兎の乳母が、誤ってお姫様を雲の間から落とし、自分が探していることを伝える。リスの一回は杖の命を作り、池の上を辿る。ゲロ助は仲間を指示して、舟を転覆させる。リスのおおあさんから事情を聞いた雁は、錠たちをくまびしてつづき、やっつける。雁は女の子を羽に乗せ、おおあさんのもとに届ける。助かった女の子とおおあさんは雁の背中に乗って、月の御殿に向かう。月の王冠を付けた王女様と、優しいおおあさんは、兎たちの歌と踊りの歓迎を受ける。
215	NAE0286	1935-17	ターチャンの海底旅行	政岡映画美術研究所	監督・政岡憲三 原作・編曲・日立二郎 作画・熊川正雄・桑田良太郎・川島正義・竹内孝人 撮影・原田誠一 伴奏・政岡映画音楽部 録音・J・O・トーキー・スタヂオ	1巻	224m	8分						ターチャンとミーちゃんの二人は豆潜水艇で海上を散歩。鯨が泳いでいるので、飛魚を描いて鯨に投げ捨てる。鯨は餌を食べて海中へ潜るので潜水艇も海底へ。驚いたカニは潜望鏡をハサミでチョン切る。ターチャン怒って魚雷を発射。カニは魚雷をはさんだまはるか向うへ。潜水艇を出て海中散歩していると沈没船がある。船の扉が開き大きな手がミーちゃんをつかむ。沈没船に住む怪人がさらったのだ。ターチャンが助けようとすると思は閉じる。ターチャンは電音にSOSを発した。電王の命令下、魚の遊撃、クラゲ、鯨、タコのオートジャイロ等の応援で沈没船の怪人をつかまえミーちゃんも無事。電音の使者亀の背に乗り海上へ、魚達が見送る。	
215	改訂NAE0286	1935-17	漫画ターチャンの海底旅行	政岡映画美術研究所	監督・政岡憲三 原作・編曲・日立二郎 作画・熊川正雄・桑田良太郎・川島正義・竹内孝人 撮影・原田誠一 伴奏・政岡映画音楽部 録音・J・O・トーキー・スタヂオ	9.5mm版発売・伴野文三郎商店(パチンコビー)	1巻	224m	8分					現存版は9.5mmの無声版。2010年に映画保存協会の映画の里親第6回作品としてこのプリントをもとに35mmに復元された。原作と編曲を担当した日立二郎は政岡の甥の政岡恒雄のペンネーム。	ターチャンとミーちゃんの二人は豆潜水艇で海上を散歩。鯨が泳いでいるので、飛魚を描いて鯨に投げ捨てる。鯨は餌を食べて海中へ潜るので潜水艇も海底へ。驚いたカニは潜望鏡をハサミでチョン切る。ターチャン怒って魚形水雷を発射。カニは魚雷をはさんだまはるか向うへ。潜水艇を出て海中散歩していると沈没船がある。船の扉が開き大きな手がミーちゃんをつかむ。沈没船に住む怪人がさらったのだ。ターチャンが助けようとすると思は閉じる。ターチャンは電音にSOSを発した。電王の命令下、魚の遊撃、ノコギリ鯨の突撃、オートジャイロ形で急行した輸入道の増殖、鳥賊軍の煙幕展開で、沈没船の怪人を攻撃。怪人と輸入道の格闘の末、最後はターチャンの一撃で怪人は鯨の口の中へ、助かったミーちゃんを抱き合うターチャン。二人は龍宮の使者亀の背に乗り海上へ、魚達が見送る。
220	NAE0324	1937-4	チュウ助の報恩	三幸発声漫画研究所	原作・関たけし 演出・鈴木宏昌	1巻	250m	9分						お腹のすいた白鼠のチュウ助は食物を探しているが、ライオンが肉をそばにおいて昼寝していた。たまたま肉片を盗み食べているところを目撃したライオンに捕まる。捕らえたライオンは腹をいませ逃してやる。ある日、土人の一隊にライオンが捕まった。チュウ助は仲間の鼠軍を引きつれ土人部落を急襲しライオンを助け出す。	お腹のすいた白鼠のチュウ助は食物を探しているが、ライオンが肉をそばにおいて昼寝していた。たまたま肉片を盗み食べているところを目撃したライオンに捕まる。捕らえたライオンは腹をいませ逃してやる。ある日、土人の一隊にライオンが捕まった。チュウ助は仲間の鼠軍を引きつれ土人部落を急襲しライオンを助け出す。
	改訂NAE0324	1937-4	鼠と獅子チュウ助の報恩[サイレント版]	三幸発声漫画研究所	演出・鈴木宏昌 原作・関たけし 作画スタッフ・鈴木宏昌・福田里三郎・暮田博匡・松本衆司・本間世紀	1巻	256m	10分		白黒	サイレント	16mm 片目		オリジナルは35mmトーキー作品。所蔵プリントは16mmサイレント版(8分)。物語は、副題にある「鼠と獅子」からもわかるとおり「インソップ集話集」の一篇で、当時の『小学国語読本』に「獅子と鼠の事」として載っており、「ねずみの恩返し」のタイトルでも知られる。「世界教育お伽話画シリーズ 第三集」とタイトルが出るが、第一集や第二集は不明。また「白鼠のチュウ助漫画」とあることから、チュウ助を主人公とした他の作品もあると思われるが、詳細は不明である。なお『鼠と獅子』の題名で1934年に片岡秀太郎が横浜シネマ商会でアニメ化している。	お腹を空かせた白鼠のチュウ助は、獲物の鼠と獅子を奪ってこね、兎の取巻いた異物にありつくと一個食べただけで見つかり、兎に泥神呼ばわりされ、投げ飛ばされる。ライオンが肉片を前に展開しているのを見たチュウ助は、こっそり取って食べる。ライオンが肉片を前に展開しているのを見たチュウ助は、こっそり取って食べる。ライオンは強力な腕力で人間たちを打ち負かし、鼠も獅子の突をかじり人々の上に落とす戦法にする。人間は降参し、チュウ助は休戦の合図をする。勝利を収めたチュウ助はライオンの背に乗って凱旋する。

224	NAE0368	1940-6	カンガルーの誕生日	日本映画科学研究所	原作・木村阿弥子 原画・熊川正雄 動画・桑田良太郎、土井研二、岡本康、吉村祥 背景・村上博彬 彩画・谷路夫 音楽・武政英策 撮影・木村角山	深田商会映画部配給	1巻	257m	9分	1941年2月									カンガルーのカンちゃんの誕生日、ごちそうのにおいをかぎつけた狼が襲ってきて、カンちゃんをさらって行く。罅が固っているモグラが助太刀に現われ、地下戦術で大活躍の末、狼をつかまえた。
224	改訂NAE0368	1940-6	カンガルーの誕生日	日本映画科学研究所	原作・木村阿弥子 原画・熊川正雄 撮影・木村角山 動画・桑田良太郎、土井研二、岡本康、吉村祥 背景・村上博彬 彩画・谷路夫 音楽・武政英策	国光映画、深田商会映画部提供	1巻	257m	9分	1941年1月9日	新宿映画劇場	白黒	サイレント	16mm	もとは35mmのトーキー作品で、のちに35mmと16mmのサイレント版も作製された。映画館興行用は国光映画が配給し、教育業者へは深田商会映画部が提供した。所蔵プリントは16mmサイレント版で、メイナイトルやクレジット及び冒頭の字幕2枚が欠落、エンドマークも別タイトル。なおマツダ映画社所蔵のものはメイナイトルやクレジット等の欠落のないもの。インタートイトルは全てカタカナ。『映画旬報』1941年2月21日号の広告には「新界の第一人者・木村角山製作にかゝる傑作発声漫画ノ可憐い「カンちゃん」の失跡?親友もぐらもちの活躍…」とある。	今日はカンガルーのカンちゃんの誕生日。お母さんは大きなケーキを作ってお祝いします。4人のきょうだい(男の子が2人と女の子が2人)も飾り付けの手伝い。カンちゃんはずみ食いをして、泣立て器でいたずら。オープンからおいしそうな匂いが家の外に流れ、森の狼の住み家に辿り着きます。その匂いをたよりに、狼はカンガルーの家に侵入、ご馳走を平らげ、食い足りないカンちゃんをさらって行きます。お母さんが後を追うと、心配したモグラたちが現れ、狼の家までトンネルを掘ります。カンちゃんのきょうだいもトンネルの中を後に続きます。モグラ部隊ときょうだいの活躍で、狼を地下の穴から罅で捕り上げます。お母さんのももに戻ったカンちゃんはみんなとパンザイをして喜びます。			
224	改訂NAE0368	1940-6	カンガルーの誕生日[サイレント版]	日本映画科学研究所	原作・木村阿弥子 原画・熊川正雄 撮影・木村角山 動画・桑田良太郎、土井研二、岡本康、吉村祥 背景・村上博彬 彩画・谷路夫 音楽・武政英策	国光映画、深田商会映画部提供	1巻	257m	9分	1941年1月9日	新宿映画劇場	白黒	サイレント	16mm	16mmサイレント版が2本ある。収録ID: 30860、30859。30860の方が長く、これを元素材に35mm(ID: 20065)の複製を作製。	今日はカンガルーのカンちゃんの誕生日。お母さんは大きなケーキを作ってお祝いします。4人のきょうだい(男の子が2人と女の子が2人)も飾り付けの手伝い。カンちゃんはずみ食いをして、泣立て器でいたずら。オープンからおいしそうな匂いが家の外に流れ、森の狼の住み家に辿り着きます。その匂いをたよりに、狼はカンガルーの家に侵入、ご馳走を平らげ、食い足りないカンちゃんをさらって行きます。お母さんが後を追うと、心配したモグラたちが現れ、狼の家までトンネルを掘ります。カンちゃんのきょうだいもトンネルの中を後に続きます。モグラ部隊ときょうだいの活躍で、狼を地下の穴から罅で捕り上げます。お母さんのももに戻ったカンちゃんはみんなとパンザイをして喜びます。	今日はカンガルーのカンちゃんの誕生日。お母さんは大きなケーキを作ってお祝いします。4人のきょうだい(男の子が2人と女の子が2人)も飾り付けの手伝い。カンちゃんはずみ食いをして、泣立て器でいたずら。オープンからおいしそうな匂いが家の外に流れ、森の狼の住み家に辿り着きます。その匂いをたよりに、狼はカンガルーの家に侵入、ご馳走を平らげ、食い足りないカンちゃんをさらって行きます。お母さんが後を追うと、心配したモグラたちが現れ、狼の家までトンネルを掘ります。カンちゃんのきょうだいもトンネルの中を後に続きます。モグラ部隊ときょうだいの活躍で、狼を地下の穴から罅で捕り上げます。お母さんのももに戻ったカンちゃんはみんなとパンザイをして喜びます。		
226	NAE0391	1941-16	チュウ児の羽衣	土田商会	作画・撮影・山口貞三	東和商事映画部配給	1巻	305m	11分	1942年1月8日	名古屋名宝会館							蝶子は大切な羽衣を弟のチュウ児に取られたが熊吉のおかげで無事に取り戻すことが出来た。	
226	改訂NAE0391	1941-16	チュウ児の羽衣 [サイレント版] マンガ裸ちや飛べない[戦後改題版]	土田商会	作画・撮影・山口貞三		1巻	305m	11分	1942年1月8日/1942年6月4日	1942年1月8日 名古屋名宝会館 / 1942年6月4日 東横ニュース劇場	白黒	サイレント	16mm 片目 トーキー 35mm	オリジナルは35mmトーキー作品。所蔵プリントは16mmサイレント版。『日本アニメーション映画史』の製作会社や略称、長さの記述は『映画年鑑 昭和十八年』(日本映画雑誌協会、1943年12月)の『昭和十七年作品記録』(137頁)から、また、製作会社、配給会社、封切年月日・封切館及び長さの記述は『映画旬報』1942年4月11日号・第44号の『昭和十七年一月より三月 封切映画一覧』(61頁)から、それぞれ転記したものと思われる。但し『映画年鑑 昭和十八年』での封切年月日・封切館は1942年6月4日、東横ニュース劇場となっている。神戸映画資料館には、戦後『マンガ裸ちや飛べない』と題されたタイトルに改題された35mmプリント(10分)が所蔵されている(公開年未詳)。クレジットは「製作 ミツウ興行株式会社/作画 光田三弥/音楽 斎藤七郎/録音 岩谷サウンド」。オリジナルのトーキー版ではなく、再録されたものと思われるが、16mmサイレント版にはないシーンが若干含まれている。	地上に舞い降りた蝶子は、花の受粉の手伝いをする。雲が太陽を隠し、雨が降る。蝶子は雨に濡れた羽衣を樹の間に紐を張って乾かす。一輪車でやって来たチュウ児が、紐に引っかかり、干してあった羽衣を持って行ってしまった。取られたことに気づいた蝶子は、取り返そうとするが、チュウ児は自分の物だと言い張る。チュウ児は返して貰いたければ、飲み物と食べ物を持って来いと蝶子を困らせる。蝶子は花の蜜でジュースを作り、クワガタとカマキリとホタルに手伝って貰い、果実をかまどで食べ物を作る。大威張りで食べたチュウ児は、隙を見て羽衣を箱にしまい鍵をかけた。チュウ児は蝶子に窮状を訴え、熊吉はチュウ児を追いかけける。チュウ児は樹の上に登り、高にぶら下がって、熊吉を翻弄する。調子に乗ったチュウ児は、樹上の鳥の卵を潰してしまい、怒った熊吉はチュウ児を攻撃。チュウ児が落とされた鍵を、熊吉が蝶子に返し、熊吉はチュウ児をお仕置きする。			
229	NAE0414	1942-21	夢の浦島		製作・木村白山 録音・岩谷サウンドシステム	解説・牧野周一	モリモト映画社提供	1巻	244m	9分	1942年11月5日	封切	東横ニュース劇場						大正十四年『ノンキタウサン電音参り』の活弁トーキー版。
229	改訂NAE0414	1942-21	夢の浦島		製作・木村白山 録音・岩谷サウンドシステム	解説・牧野周一	モリモト映画社提供	1巻	244m	9分	1942年11月5日	封切	東横ニュース劇場						大正十四年『ノンキタウサン電音参り』の活弁トーキー版。現存版は製作会社が録音映画社になっており、それ以外のクレジットはない。メイナイトルには戦後のCDD認可番号MI0332が付されている。
240	NAE0480	1948-21	藤のお園	日本短編映画社	演出・進藤進			1巻	265m	10分	1948年1月	完成							

240	改訂NAE0480	1948-21	蜂のお国	日本マンガフィルム研究所【日本短編映画】	動画・進藤雄 画研究所 製作・高橋喜代江 作画・進藤光子 撮影・進藤幸児 音楽効果・木村一		1巻	265m	10分	1948年1月完成	白黒	トーキー (デシンテイ)	16mm 片目	収蔵ID: 21223。これを元素材に 35mm(ID: 20027)の複製を作製。	16mm所蔵プリント(9分)のクレジットに「日本マンガフィルム研究所作品」とあるが、この時期は日本短編映画株式会社と社名を変更していた。1933年に瀬尾光世、高橋幸次郎らによって設立された日本マンガフィルム研究所は、その後、いくつかの変遷を経て、高橋幸次郎の死後、夫人の高橋喜代江に引き継がれた。この時期は日本短編映画株式会社であったが、何らかの理由で旧社名を付したクレジットが残ったものと考えられる。「キネマ旬報」1950年4月上旬号・再建79号の「戦後教育映画一覧」の「日本短編映画株式会社」の項に、「演出・進藤雄、1948年1月、1巻」とある。また神戸映画資料館の内部メモに「作画・山田順治、等価金二、鈴木淳夫、奈良次郎」との情報もある。音声ナレーション。里見八郎著「8ミリの映写と映写機」(金園書房、金園社、1957年12月)の「朝日8ミリシネフィルム」目録では「春が近づき長い冬眠からさめた蜂の国で展開される諸行事。女王と新女王の論争、建蜂、勳蜂の活動等色々の葛藤を経て働く蜂が新しい国の建設に邁進する。」(174頁)と紹介されている。	蜂の国に春が来る。蜂の巣では長い冬眠中にたまった汚れ物の掃除で大忙し。女王蜂も目を覚まして卵を産み始める。三日経つと卵が孵って白い幼虫になる。若い蜂がそのお世話をする。大きくなった幼虫は自分で着物を編んでサナギになる。サナギが一入りの蜂になって出てきて、すぐ働き出す。若い働き蜂は蜜蝋の壁を作り、豊年踊りの花粉を集めて、幼虫に与える。蜜を集める蜂と花粉を集める蜂は分業。豊年踊りのようなダンスで花粉のありかを仲間へ教える。虫蜂に捕まった仲間を助ける。しかく建蜂は働き蜂でたたくく食べている。やがて新しい女王蜂が生まれると、古い女王蜂は一族を引き連れて分蜂する。新しい女王蜂はたった一匹の雄蜂とだけ結婚する。狂宴な大空の結婚式でのキネ。新しい自作りは大空、国家再建、頑張るまじら。労働争議ひとつない平和な国にも忍び込む凶悪がいる。警戒蜂が巣を狙う目針を別して駆逐。そして逃げ遅れた蜂も追放される。
243	NAE0525	1952-6	お天気学校	東宝教育映画、日本動画社	山本早苗 監督・中央気象台 脚本・萩下泰次 演出・古沢日出夫 線画製作・東宝図解映画社		2巻	499m	18分							鳥の雲言一家が天気予報を無視して転居する途中、台風に3つかり、散々な目にあい、ラジオや新聞の天気予報が大切だとわかる。
243	改訂NAE0525	1952-6	お天気学校	東宝教育映画、日本動画	指導・中央気象台 製作・山本早苗 脚本・萩下泰次 漫画・古沢日出夫 線画・市野正二 撮影・松本俊	奥商會企画・配給	2巻 1巻				白黒	トーキー サイレント [音声欠落]	35mm 16mm	現存プリントには、35mmのオリジナル版(17分)と16mm短縮版(10分、音声欠落)がある。16mm版は細かな部分で35mm版に欠落してしているところがあるものの、気象に関する説明箇所の順番が異なり省略されているところも多く、雲言一家が台風に遭遇するエピソードも短くなっている。なお、劇中のラジオにはナショナルのマークが見えることから、松下電器と提携があったことが伺える。『キネマ旬報』1952年6月15日号の「ニュース短編 新作紹介」では、製作に6か月以上もかかり、企画配給を東商會、製作を東宝教育映画が引き受け、漫画部分を日本動画社(代表・山本早苗)、線画部分を東宝図解映画社(昨年9月独立、代表・市野正二)が担当したとしている。	小鳥村の雲言一家は、雲言父さんとお母さん、男の子(雨吉?)の三人暮らし。男の子が大空学校に行くとき、階段の手摺りを滑り降り、椅子に座った父さんに激突、父さんの見えていた大空さんからの「新しい家が出来ました」という手紙を手に取る。男の子は天気新聞を見て、明日は雨だと言うが、父さんは意に介さない。大空学校の吹き方を勉強するが、先生は最前線の海風と夜の陸風、低気圧と高気圧による季節風の吹き方を説明するが、生徒たちは退屈して居眠りしている。眠気覚ましに隣の空軍象台を見学するという先生。生徒たちは飛び立って、百葉箱や風見鶏、風速計で悪戯する。先生は皆を呼び寄せ、天気図の作り方を解説する。日本全国から、または外国の鳥たちとも連絡をとって、各地の天気模様を調査、等圧線を作成する。風力記号も記入し、台風の風速も説明。また寒冷前線と温暖前線によってできる不連続線を引き起こす気象現象や雨量の計測方法をみる。九州地方の大ツバメから台風発生地の情報もたらされる。すぐさま天気新聞の号外として台風警報が発令。引越荷物をまとめた雲言は号外を見るが無視、学校から帰ってきた男の子が明日の引越しがダメだというが、雲言父さんは天気予報なんか当てにしているなら何もできないという。ラジオからは盛んに台風情報が流れる。翌朝、引越しのため飛び立つ雲言一家。風雨が強く男の子の靴が吹き飛ばされる。一家の荷物も飛ばされ、暴風雨で木が倒れ、雷も発生。その後、雨も上がり、雲言一家三人は無事な喜び。雲言は新しい家のポストに「天気新聞受入口」と書き入れる。	
無	新規追加		軟尖集(なんせんしゅう)	B.BANNO CO.(伴野文三郎商店)	作画・大石郁雄		16mm版発売・十字屋小型映画部(マーヴェルグラフ)		12分		白黒	サイレント	16mm 両目	完全、フィルム縮みあり	二話からなり、それぞれのタイトル表示は「軟尖集」「なんせんしゅう ソノ二」。製作年代は、「ソノ二」の冒頭で佐藤千夜子さんが歌ってヒットした「愛して頂戴」(作詞・高橋八十作曲・中山晋平)を犬の女の子が歌っているので、1929年以降。	一話目は、太ったおじさんが獲るために鳥の島に象狩りに行く話で、二話目は、鼠の男の子が鼠のギャングの妨害をげず、犬の女の子に首輪を渡す話。